

生涯学習

学習啓発

町制五十周年

ふれあいのつどい

去る二月二十八日、「町制五十周年ふれあいのつどい」が開催されました。

オープニングは、老人クラ



老人クラブ
コーラス部の皆さん

ブコーラス部の皆さんによる「一寸法師」「ふるさと春まつり」の発表でした。元気な歌声や楽しい劇に、会場はなごやかな雰囲気になりました。続いて、町づくりや生涯学習を行っている各団体・グループを代表して、三人の方から実践発表・活動報告がありました。

また、記念講演として、熊

本県立劇場館長、鈴木健二氏

の「ふるさとづくり・人づく

り」と題した話をうかがいま

した。町内外からの五百名を

越す参加者は、体験をふま

えた興味深い内容と、ユーモ

あふれる流ちょうな話しぶり

に思わず引き込まれ、時間の

たつのを忘れてしまうほどで

した。

学習発表

○健康の増進と

環境づくり

宗頭自治会長

河野 常春さん

他地区に先がけての農業集落排水事業への対応、ゴミ減量運動の取り組みなど、誰もが関心をよせていることについて、自治会としてどのようにかかわればよいかということについて、具体的な事例をとり上げて話されました。

○トリムバレエに 魅せられて

ナイスミディー

岡村由紀子さん

仕事や家事に追われ、一日中フル回転の主婦は、自然とストレスもたまるもの。気心の知れた友達と無心になってボールを追う二時間は、身も心もリフレッシュできる素晴らしい時間だと、自分に合った生涯スポーツを続けることの楽しさを話されました。

○青少年の育成

活動について

田辺 紀夫さん

田村不二代さん

野波瀬子ども会創設から今日に至るまで、子どもたちを主人公にした活動をめざして努力してこられたいきさつや、ジュニアリーダーの組織をつくり、積極的に社会参加されている様子を、楽しく対談されました。

記念講演

「ふるさとづくり・

人づくり」

熊本県立劇場館長

鈴木 健二氏

「だれもが自由な発想で町づくりについて語れる雰囲気が必要である。その中から進むべき方向を選び出し、一人ひとりが自分にできることを実行することが大切である。みんなが心を寄せ、力を出し合えば、素晴らしい結果が得られる」と、熊本県での村おこしの事例などをもとにお話をされました。

町民文芸

俳句

清風句会

(五十音順)

(三月)

山椒の芽汁に浮かべて香をめでる 上利 花女

庭牡丹花芽抱きてふくらめり 岩本さつき

長閑さやこの頃ひどく物忘れ 因藤 兔史

母の忌に春泥つけし車くる 上田 雪子

窓ごしの光の春に心燃ゆ 沖村美智子

山峽をのどかに走り山陰線 木村 智子

長閑なり老いてもすぎび急らず 高崎はま子

美しや木の芽輝く朝の庭 仁保 民子

忘れずに木の芽ふくらみ四季を知る 山城てる子

白壁に昔酒屋の木の芽風 山野タケ子

山々を動かす木の芽雄大さ 和田 英二

選者追吟

茶柱に春めく今日を占いぬ 富田佳津美